

# 情報連絡員総括表（2024年7月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 58名：回収率 96.7%）

○2024年7月のDI値は、前月との比較において、「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」の6指標が改善。その他3指標が悪化した。「売上高」「取引条件」「資金繰り」の3指標は製造業・非製造業問わず改善傾向が見られるが、「在庫数量」「販売価格」の2指標は、業界問わず悪化しているなど厳しい状況に置かれている。「雇用人員」について非製造業においては3.3ポイントの回復しているものの、製造業においては13.3ポイント悪化しており、業界全体では-5.4ポイントの悪化を記録している。「業界の景況」は製造業では3.3ポイント悪化しているが、非製造業では5.2ポイント改善され、全体では0.8ポイント改善が見られるものの、以前DI値はマイナスを記録するなど厳しい状況が続いている。

○「製造業」では、前月との比較において「売上高」「取引条件」「資金繰り」「設備操業度」の4指標が改善され、その他5指標が悪化した。織物業においては受注が増加傾向にあるが、原材料・織工賃の上昇に伴い直接的な利益に結びついていない。骨材・石工品業においては、前年同期比での売り上げ減少に加え、設備修繕費の増加により収益が悪化している。業界によって売り上げが回復傾向にある場合とない場合の二極化が進んでいるが、コスト増による収益状況の悪化が懸念されており、価格交渉・価格転嫁をいかに行うかが課題であると言える。

○「非製造業」では、前月との比較において「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」「業界の景況」の6つの指標が改善し、その他2指標が悪化した。2024年の中では、1月の7指標が改善されたことに次ぐ指標の改善数であるが、「販売価格」以外はマイナスを記録していることから、依然として厳しい状況が続いているといえる。各種商品小売業や宿泊業においては、売り上げが増加しているが、経費負担や設備補修等が増加傾向にあることから、収益状況の回復を実感するには至っていない状況であると言える。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年7月	-12.1	-14.2	15.6	0.0	-38.0	-10.3	-20.0	-10.4	-25.8
2024年6月	-20.0	-18.2	25.0	-13.4	-38.3	-21.6	-33.3	-5.0	-26.6
増減	7.9 ↑	4.0 ↓	-9.4 ↓	13.4 ↑	0.3 ↑	11.3 ↑	13.3 ↑	-5.4 ↓	0.8 ↑

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		
売上高	2024年7月	-23.3	6.7 ポイント	↑	0.0	10.0 ポイント	↑	-12.1	7.9 ポイント	↑	2024年6月	-30.0	-10.0	-20.0
	2024年7月	-13.4			-16.7			-14.2			2024年6月	-16.7	-21.5	-18.2
在庫数量	2024年7月	-13.4	3.3 ポイント	↓	-16.7	4.8 ポイント	↓	-14.2	4.0 ポイント	↓	2024年6月	-16.7	-21.5	-18.2
	2024年7月	16.6			14.3			15.6			2024年6月	20.0	30.0	25.0
販売価格	2024年7月	16.6	-3.4 ポイント	↓	14.3	-15.7 ポイント	↓	15.6	-9.4 ポイント	↓	2024年6月	20.0	30.0	25.0
	2024年7月	0.0			0.0			0.0			2024年6月	-16.7	-10.0	-13.4
取引条件	2024年7月	0.0	16.7 ポイント	↑	0.0	10.0 ポイント	↑	0.0	13.4 ポイント	↑	2024年6月	-16.7	-10.0	-13.4
	2024年7月	-46.7			-28.5			4.9 ポイント			↑	-38.0	2024年6月	-43.3
収益状況	2024年7月	-46.7	-3.4 ポイント	↓	-28.5	4.9 ポイント	↑	-38.0	0.3 ポイント	↑	2024年6月	-43.3	-33.4	-38.3
	2024年7月	-16.7			-3.6			16.4 ポイント			↑	-10.3	2024年6月	-23.4
資金繰り	2024年7月	-16.7	6.7 ポイント	↑	-3.6	16.4 ポイント	↑	-10.3	11.3 ポイント	↑	2024年6月	-23.4	-20.0	-21.6
	2024年7月	-20.0			13.3 ポイント			↑			-20.0	13.3 ポイント	↑	2024年6月
設備操業度	2024年7月	-20.0	13.3 ポイント	↑		3.3 ポイント	↑	-10.4	-5.4 ポイント	↓	2024年6月	-33.3	-33.3	-5.0
	2024年7月	-20.0			0.0			3.3 ポイント			↑	-10.4	2024年6月	-6.7
雇用人員	2024年7月	-20.0	-13.3 ポイント	↓	0.0	3.3 ポイント	↑	-10.4	-5.4 ポイント	↓	2024年6月	-6.7	-3.3	-5.0
	2024年7月	-30.0			-21.5			5.2 ポイント			↑	-25.8	2024年6月	-26.7
業界の景況	2024年7月	-30.0	-3.3 ポイント	↓	-21.5	5.2 ポイント	↑	-25.8	0.8 ポイント	↑	2024年6月	-26.7	-26.7	-26.6
	2024年7月	-30.0			-21.5			5.2 ポイント			↑	-25.8	2024年6月	-26.7

## 今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0
	繊維工業	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1
	木材・木製品	1	2	0	1	0	1	0	1	0	3	0	1	0	3	0	2	0	3
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	1	2	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	1	1	1	1	1	0	3	0	2	0	1	0	0	0	2
	一般機器	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	2	0	1	0	1
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	輸送用機器	2	3	0	1	1	0	1	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非製造業	卸売業	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0			1	0	0	1
	小売業	1	3	0	2	1	0	0	1	0	3	0	1			0	2	0	3
	商店街	1	2	0	1	2	3	0	1	0	2	0	1			0	2	0	2
	サービス業	3	1			3	0	2	0	1	1	1	0			1	0	2	0
	建設業	1	3			1	1	0	0	0	2	1	1			1	1	0	2
運輸業	3	0			1	0	0	0	0	0	0	0			2	0	0	0	

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

パン	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏場は猛暑続きで食欲が落ちるためパンの消費量も減少。そのためパンの消費を促すため「レモン」「塩」「激辛」など刺激の強いもの、また「さっぱり」とした味わいに仕上げた商品を販売している。</li> <li>大手製パン業者は「明治スーパーカップ」とコラボした商品で、アイスイメージしたクリームをサンドしたメロンパンを販売している。</li> </ul>
織物	<ul style="list-style-type: none"> <li>綿織物・絹織物の受注は順調だが原材料・織工賃の上昇により利益に結び付きにくい。</li> <li>この業界のネックである織屋の高年齢化、設備の老朽化が改善できない。</li> </ul>
製材、木製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>国産木材は住宅市場の冷え込みで価格は弱含む。一方輸入木材は、極端な円安や日本への木材供給を引き締めている環境から価格が上昇している。いずれにしても長期的な市場の低迷が好環境を生み出すに至らない。</li> </ul>
印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>同業にネットワーク障害が発生して大変苦労したようである。外部との通信が増える中、よりセキュリティ強化しなければならない。</li> </ul>
骨材・石工品	<ul style="list-style-type: none"> <li>先月同様売上げが前年同期より減少している。売上げ減少と設備修繕費増により、収益を悪化している。</li> </ul>
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物処理及び運送価格が値上された。顧客との取引条件が悪化する傾向にある。</li> </ul>
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>白物家電の6月の業界統計では、国内出荷金額が3か月ぶりのマイナスとなった。冷蔵庫は4か月連続マイナス。ルームエアコンは気温が高かったことと前年が低調だったこともあり3か月連続のプラス。</li> <li>7月の生産では、冷蔵庫は販売低調が続くマイナス、家庭用エアコンは猛暑の影響もあり久しぶりにプラスに転じた。業務用エアコンは回復基調にあるが前年並みとなった。今後の天候の推移に注目している。</li> </ul>
輸送用機械器	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高は前年比増となった。</li> <li>物価高及び諸費用上昇、人手不足である中小企業は、存亡の危機に入ってきているのではないかとの感もある。今後も生き残る産業として、地域の中小製造業は何処に向かうのか、危機を乗り越えられるのか注視したいところであるが、中小企業によって組織される組合においてもインフレ圧力に対処できるか、と言う存続に黄色信号が灯っている状態である。</li> </ul>

#### 非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月以降、低調な出荷量が続き今後も厳しい需要が予想される。</li> <li>セメントメーカー各社より2025年4月から価格改定の要請があった。</li> </ul>
野菜・果実小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>酷暑と雨の少なさが原因で全般的に価格が高騰している。特に売れ行きの高いジャガイモ、にんじん、玉ねぎの本州産の時期が終わり、北海道産へと切り替わるタイミングと重なり、出荷量自体が少ない状態。</li> </ul>
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑さの影響により街への来街者が減っており、売上げにも影響が出ている。コンビニなどでは、飲料を中心に好調な売上げで、人気の商品は欠品も出ている。</li> <li>今年度(4月～7月)の1/3が経過し、売上・客数ともに前年を上回っている。</li> <li>施設が30年近く経過し、設備等の修繕箇所が増えており、修繕経費が大変である。</li> </ul>
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> <li>組合員旅館の宿泊人員は、前年比96.2%と減少した。3月から開催されていたイベントが、6月で終了したことによる影響も受けた。</li> <li>全体的に売上高は増加しているが、各種経費の高騰で収益は伸びていない。猛暑で外出を避けるなど、旅行を控える状況も見られる。</li> </ul>
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>官庁の建築工事と同様、土木工事の発注もAランク(大型化)に集中してきている為B・Cランクの発注額が減少傾向にある。下位の業者にとって厳しい状況が続くそうである。</li> <li>業界自体の景気は、下向き傾向にあると思われる。</li> <li>異常な暑さにより工場及び現場ともに生産量が下がり、当初の工程より遅れている所も多いと思われる。これから先、人手不足に加え自然災害を念頭に入れ対策をしなければならぬ事は、より大きな問題に発展しそうである。</li> </ul>
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市況が停滞している感があり工事も契約が遅れ気味だが、人手不足もあり供給が過不足ない様子。秋にかけて大型物件の着工が控えており、人手不足も再燃しそうである。</li> </ul>
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年問題対策としてのトラックドライバーの休暇促進や待機時間削減の取り組みにより、軽油の消費量が減少している。</li> <li>政府が石油元売り各社に支給している補助金は、現在1リットルあたり30.8円と大幅に増加しており、支給期限も4月末から12月末まで延長された。依然として補助金に頼らざるを得ない状況が続いているが、政府が段階的かつ円滑な補助金の終了を検討していることを認識しておく必要がある。</li> </ul>
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月の運送収入は前年同月を6.3ポイント上回ったが、輸送人員については3ポイント減少した。夏場の需要減退期を迎えさらに猛暑が続く為、旅客需要が減少しないか懸念される。インバウンドや夏休み期間のイベントによる需要喚起に期待したい。</li> </ul>

## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2023年7月期～2024年7月期までの推移

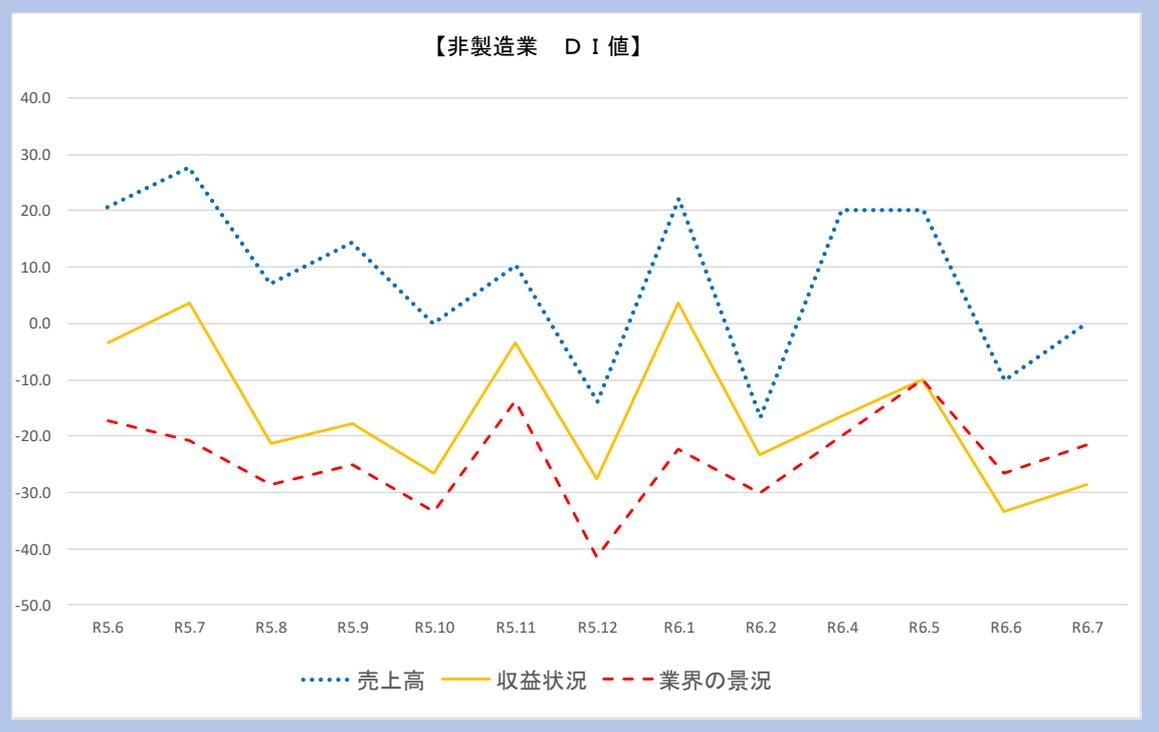
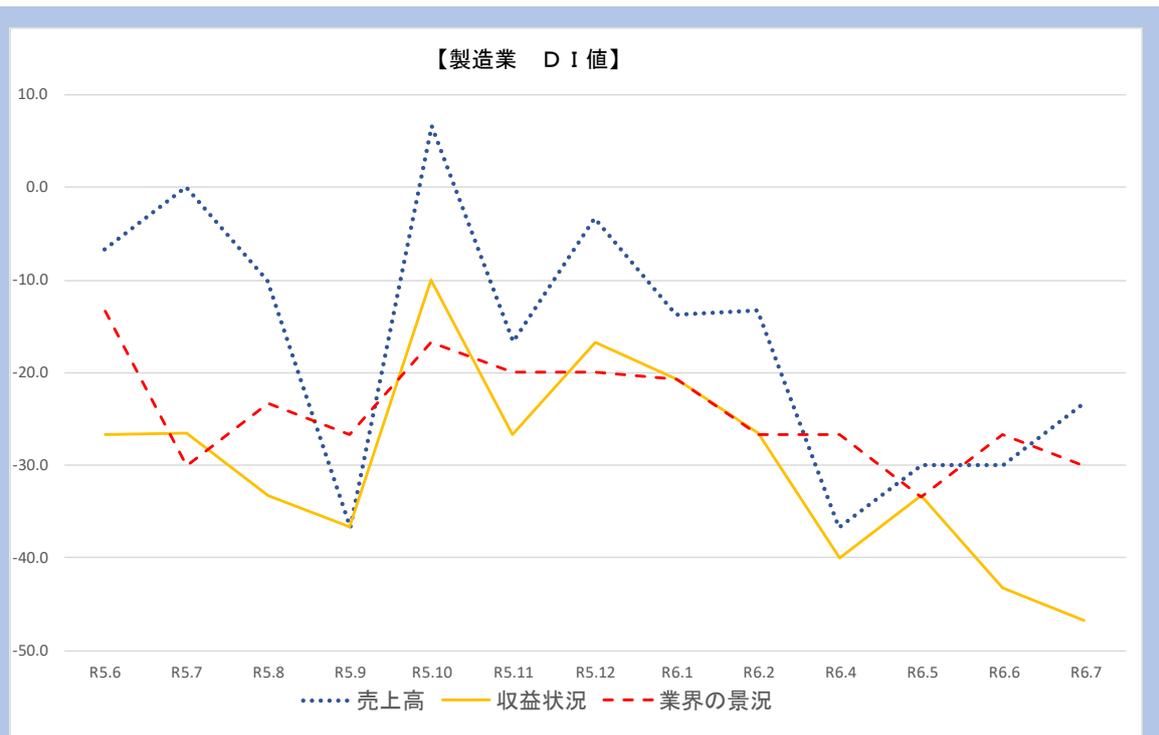
全体	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
売上高	13.6	-1.7	-12.1	3.3	-3.4	-8.5	3.5	-15.0	-8.4	1.7	-5.0	-20.0	-12.1
収益状況	-11.9	-27.6	-27.6	-18.3	-15.3	-22.1	-9.0	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3	-38.0
業界の景況	-25.4	-25.9	-25.8	-25.0	-16.9	-30.5	-21.4	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6	-25.8

製造業	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
売上高	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3
収益状況	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7
業界の景況	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0

非製造業	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
売上高	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0
収益状況	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5
業界の景況	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5



■2023年7月期～2024年7月期までの推移

売上高	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
製造業	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3
非製造業	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0

収益状況	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
製造業	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7
非製造業	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5

業界の景況	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
製造業	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0
非製造業	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5

